

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
4 - 1 - 3	多様な担い手を育成する	
重点施策ID	重点施策名	
- - -		

2. 事業名等										
事業名		酪農施設整備事業補助金（施設、牛導入事業）			事業区分		②	①新規 ②継続 ③その他（ ）		
細事業名					実施形態		①	①毎年 ②隔年 ③その他（ ）		
事業主体		市					④	①直営 ②指定管理 ③委託		
事業種別		①	①自治事務 ②法定受託事務					④その他（ 事業費補助 ）		
実施期間		平成 18 年度	～	平成 22 年度	根拠法規		豊後大野市酪農経営基盤強化事業補助金交付要綱			
各種の計画への反映（＝根拠計画）				豊後大野市農業振興計画				事業 I D		18021

3. 事業の内容等							
事業の背景 近年の酪農経営は、非常に厳しく市内においても平成18年度で3戸の農家が廃業した。現在19戸の農家で頑張っているが、経営改善の見通しは厳しく全農家が危機的状況にある。	補助事業	名 称					
		補助率	国 1/	県 1/	その他 1/		
	起 債 の 類	①					
		②					
③							
事業の目的及び対象				事業概要			
【目的】 施設整備及び優良乳用牛の導入により生産性の向上を促進し、酪農経営の体質強化を図る。				①施設整備事業 飼養管理形態の改善を図る施設の導入及び規模拡大のための畜舎の建設、増改築に対する経費の一部を補助する。 認定農業者又は、それに準じた経営能力を有すると認められた者 事業費が50万円以上、10,000万円を上限として、その1/3以内で補助する。 （補助対象上限金額）事業費の単価は施設整備面積1㎡当たり18千円を上限とする。 ②優良乳用牛導入事業 円滑な乳用牛の改良優秀な育成牛の生産促進を図るために優良乳用牛を導入した経費の一部を補助する。 導入金額が600千円を超える場合、300千円を上限として30%以内で補助する。			
【対象】 酪農経営者				前年度の評価 E 維持			
				評価結果に基づき見直した内容			

4. 予算・決算の状況（単位：千円）							
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
予算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		5,331	3,600	3,600	3,600	3,600
	計		5,331	3,600	3,600	3,600	3,600
決算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		5,331	3,600			
	計		5,331	3,600			

5. 実績及び達成目標等													
過去3年間の事業実績と課題													
平成17年度		平成18年度			平成19年度			課 題					
		【実績】 導入頭数：20頭 施設整備：2件 （細霧装置、バルククーラー）			【実績】 導入頭数：21頭			飼育環境の改善により快適性を向上させ遺伝的能力を十分に発揮させる必要がある。					
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値													
活動指標		施設整備、乳用牛導入補助額											
効率指標		前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。											
成果指標		1頭当たりの平均生産量							単 位				
									kg/頭				
年 度	H 17		H 18		H 19		H 20		H 21		H 22		備 考
種 別					生産量		生産量		生産量		生産量		
目標値					7,100		7,460		7,850		8,200		
実績値					7,179								
達成率					101.1%								
備 考													

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	生産費の高騰や生乳価格の低迷による危機的状況に対応するために、飼養管理形態の改善や優良乳用牛集団の構築が必要であるため。				
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	施設整備及び優良乳用牛の導入に係る経費の一部を行政が補助する方法が最も妥当であるため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	酪農経営安定対策にさわめて高い効果があるため。				
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	今後も同程度の事業が見込まれるため。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	酪農振興に寄与しており、現状維持が望ましいため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
市単独事業であるため、今後見直しを検討する。					
部 長	課 長	班 長	担当者 内線 2550 E-mail @bungo-ohno. jp		